

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

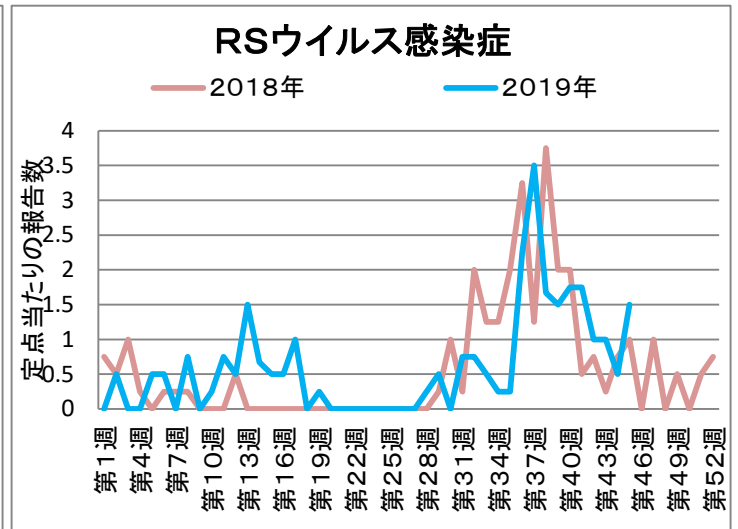
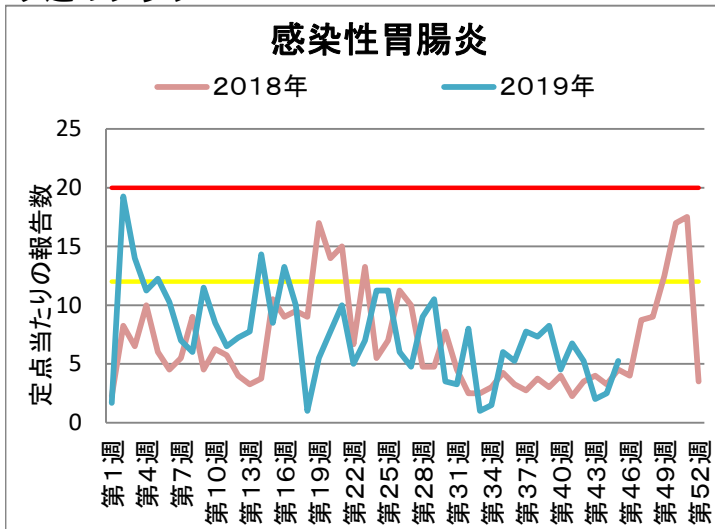
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 45 週 2019年11月4日 ~ 2019年11月10日

今週のコメント

- 感染性胃腸炎の報告数がやや増加しています(定点あたり5.25)。冬を迎え、今後さらに患者が増加する可能性があります。魚介類、特にカキの生食は避けましょう。発症した人とその介助者は、トイレ使用後や嘔吐処置後は、流水と石鹸でよく手を洗いましょう。
- RSウイルス感染症の報告数は、やや増加しました(定点あたり1.50)。この疾患の主症状は鼻汁と発熱、その後の咳です。生後数か月以内の乳児では細気管支炎や肺炎となることがあり注意が必要です。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。
- 11月8日の厚労省からの報告によると、風疹とRSウイルス感染症の流行が続いているそうです。風疹患者は主に30~50歳代の男性ですので、無料抗体価検査・ワクチン接種の対象者は、積極的に検査・接種を受けてください。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.14	伝染性紅斑	0.25
RSウイルス感染症	1.50	突発性発しん	0.50
咽頭結膜熱	-	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.25	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	5.25	急性出血性結膜炎	-
水痘	0.75	流行性角結膜炎	-
手足口病	1.25		
1~4類、5類全数報告疾病			
-			

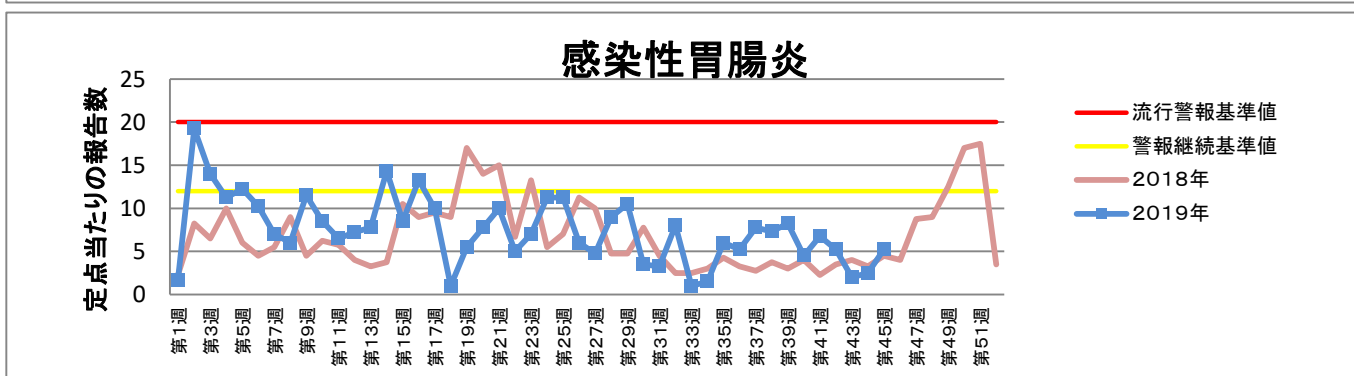
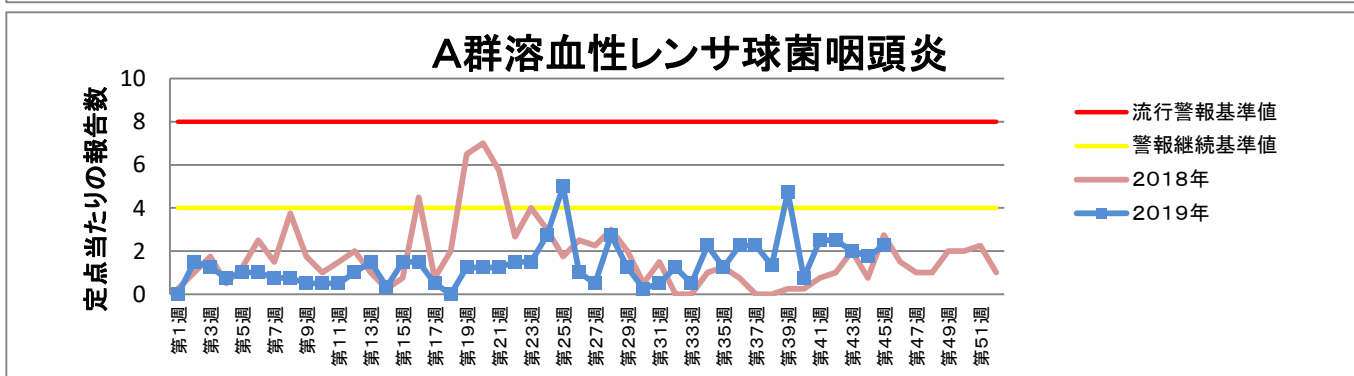
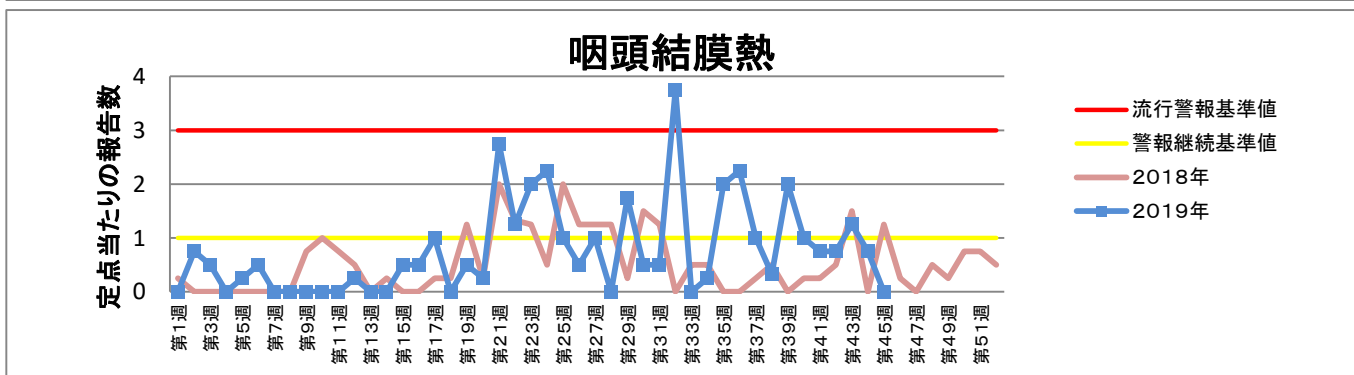
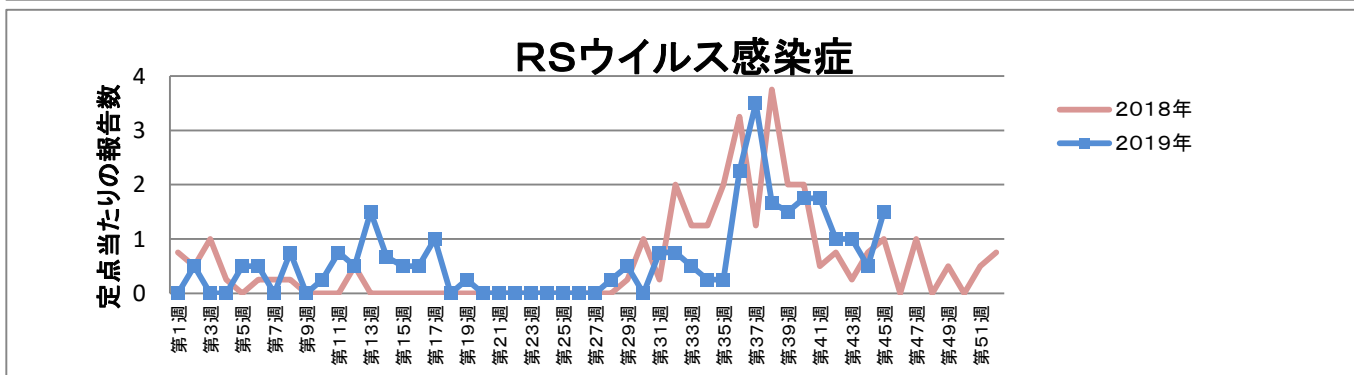
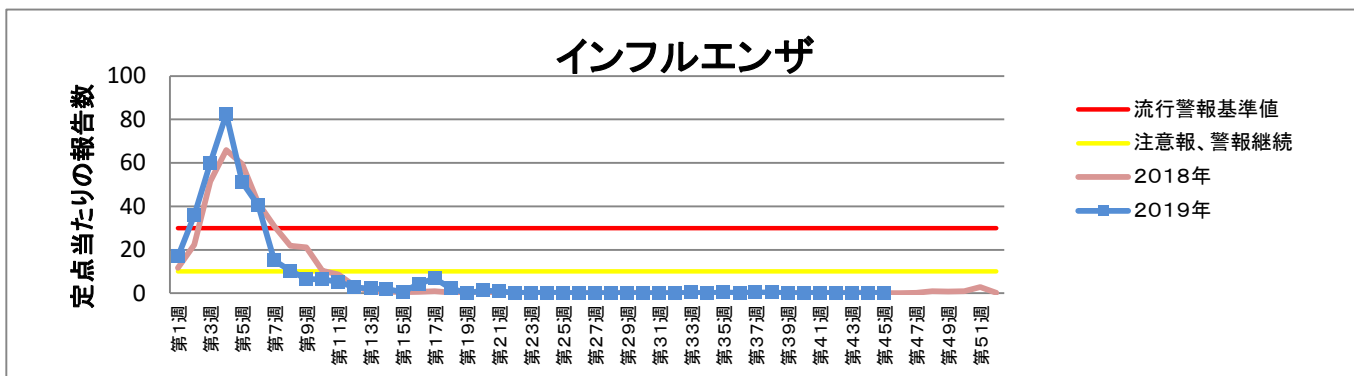
定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

- * 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
- 小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
- 眼科定点 : 1箇所

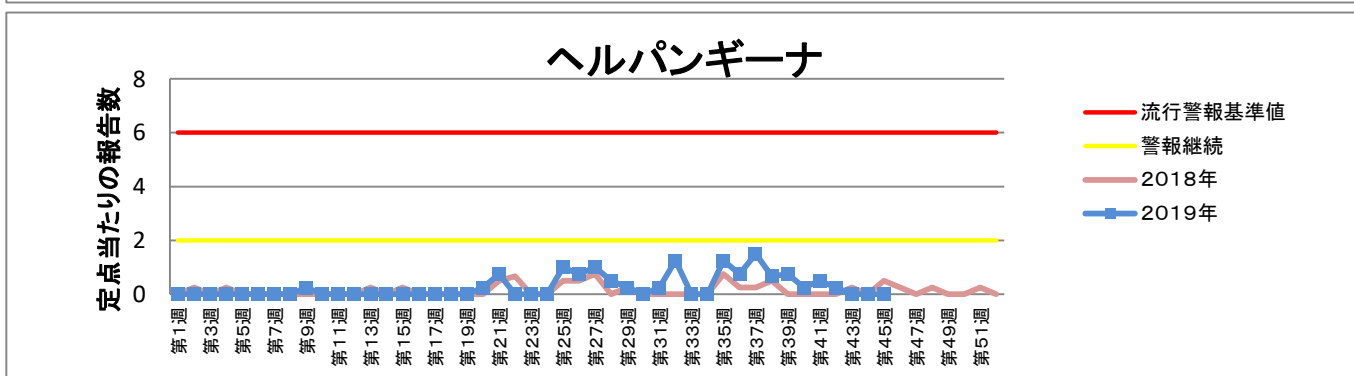
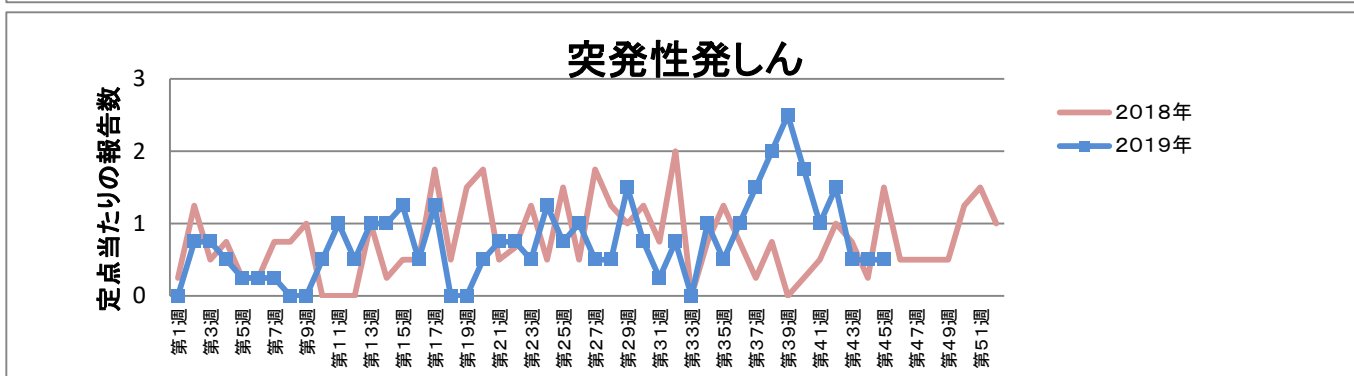
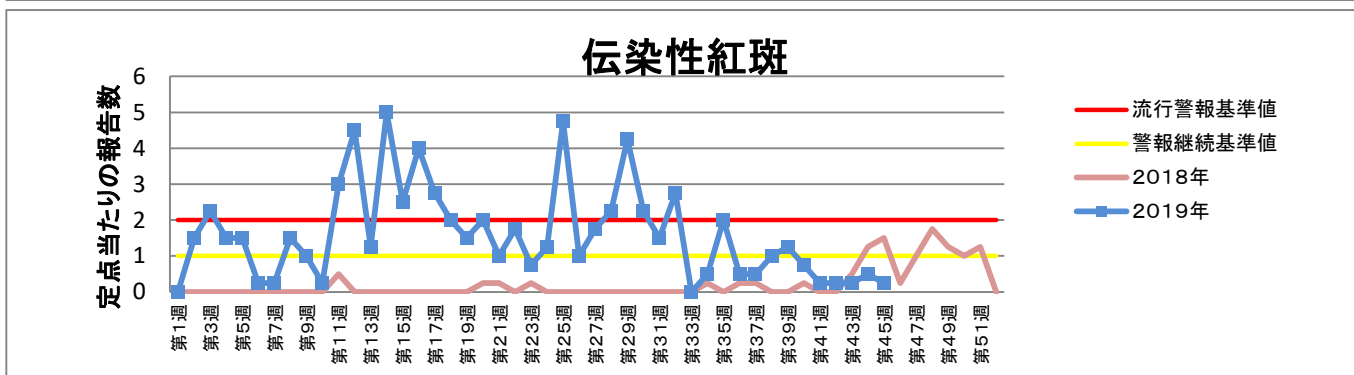
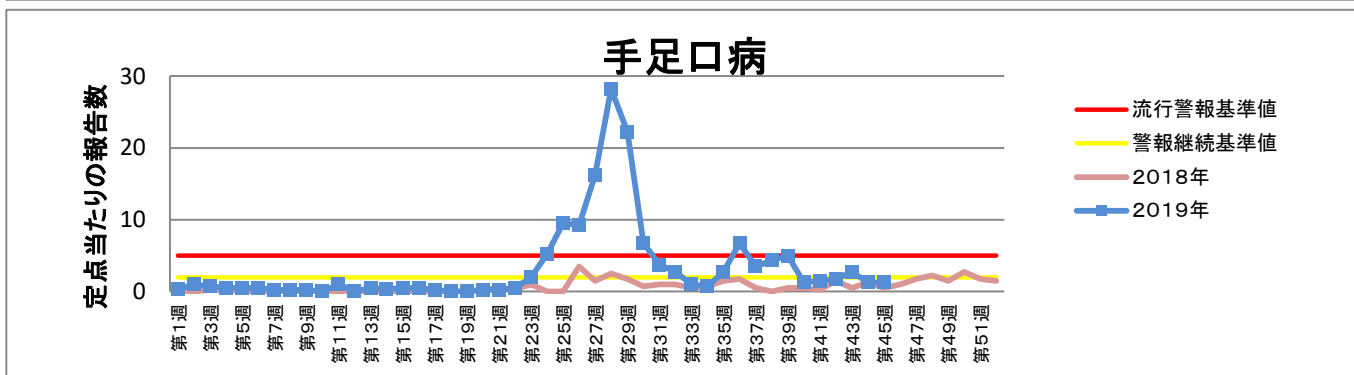
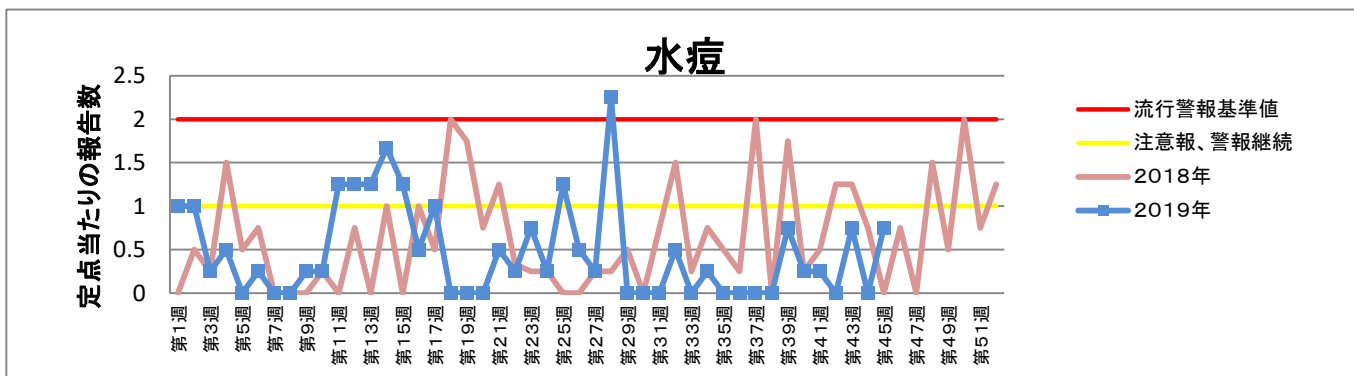
参考資料等

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

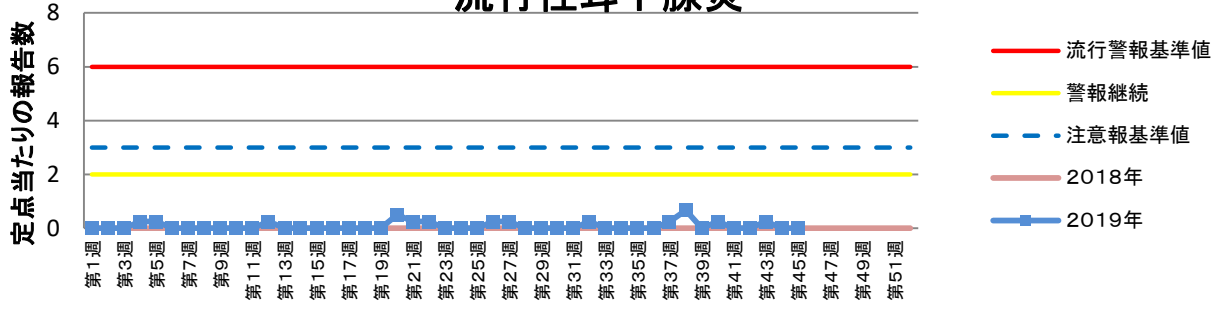


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

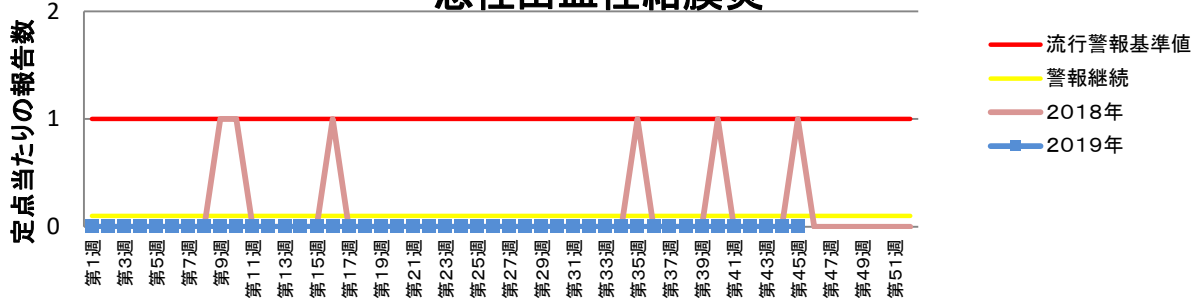


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

